

水道施設情報整備促進事業費補助金

平成31年度予算額（臨時・特別の措置） **5.0億円**

事業の内容

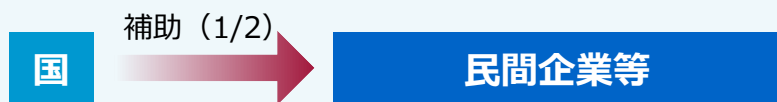
事業目的・概要

- 水道事業では、漏水事故や機器の故障を把握した場合、被災した水道事業体の担当者や、応援に駆けつけた外部の水道事業体の担当者等が、漏水調査等により被害状況を確認した後、必要な復旧作業を実施しています。
- 災害発生時、被害箇所に対して迅速な復旧を行うためには、配管やポンプ等の施設について、敷設位置、材質・口径、導入・更新時期等の諸情報を踏まえて対応することが重要ですが、特に小規模な水道事業体では、それらの施設情報を登録した台帳の整備が進んでいないという状況にあります。
- 災害発生時の対応力強化のため、水道事業の施設情報を登録した台帳データを整備し、確認することにより、被害箇所に対して迅速な対応を行うための取組を補助します。

成果目標

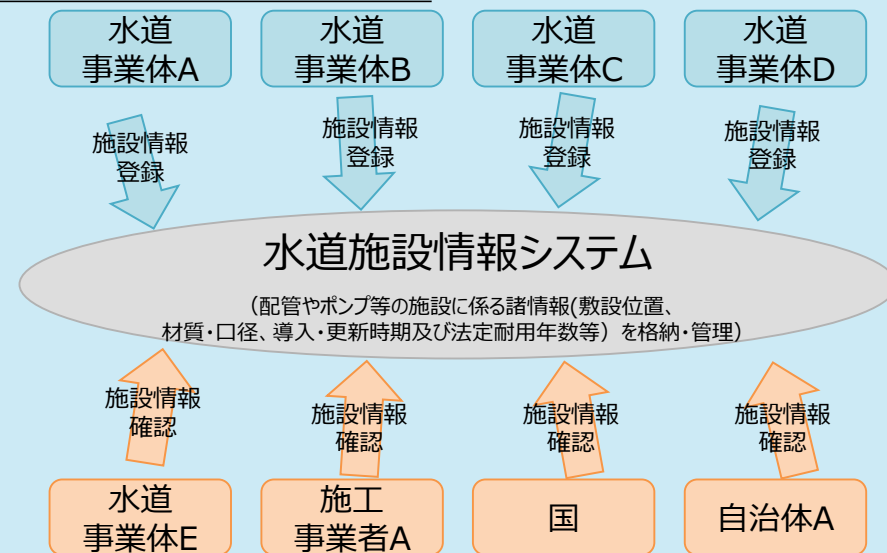
- 本システムの構築により、水道事業体における台帳データの整備が促進されることにより、迅速な復旧に資することを目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

施設情報システム活用のイメージ



※外部の組織が水道事業体の施設情報の確認を行う際は、当該水道事業体の許可が必要

浄水施設やポンプ等のデータの登録例

No	施設名	設置年	法定耐用年数	耐用年数満了年	ベンダー	維持修繕限度年	...
1	浄水監視システム	2001年	15年	2016年	A社	2021年	...
2	GISシステム	2001年	10年	2011年	B社	2016年	...
3	第1ポンプ	2001年	30年	2031年	C社	2051年	...
4	-	-	-	-	-	...

管路データの登録例

